



JIS K 5970 建物用床塗料 上塗り
 認証番号 JP0508057
 ホルムアルデヒド放散等級
 F☆☆☆☆

鉛・クロムフリー

JQA-2631 (本社工場)
 JQA-EM3548 (本社工場)

厚膜2液型エポキシ樹脂塗料
ボウジンテックス
#8700DL



- 帯電防止機能
- 耐久性
- 耐薬品性



静電気対策、帯電防止、工程短縮

静電気の安全管理は、静電気の帯電を防止することから始まります。静電気は、工場、事業所の多くの箇所で発生・帯電しています。通常は、ほとんど問題になることはありませんが、条件が揃うと事故・災害に発展することがあります。静電気の帯電防止は、突発的な静電気障害・災害の発生を防止し、被害を局限化するため重要な役割を果たすものです。

ポウジンテックス#8700DLは、静電気の帯電を防止するとともにシームレスで高耐久性を実現しました。



特長・用途

特長



ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 塗り床から静電気を漏洩し帯電を防止する
- 2 安定した抵抗値を有している
- 3 工程を短縮できる
- 4 エポキシ樹脂の特性である優れた耐久性、耐薬品性、耐衝撃性を有している

用途

- 1 静電気を嫌う工場、倉庫
- 2 コンピュータールーム・クリーンルーム
- 3 手術室



静電気を嫌う工場および作業場



コンピュータールーム・クリーンルーム

性能・荷姿

性能			
試験項目	試験方法	結果	試験後抵抗値
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付1000 μ m, 60度	90以上	/
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	2H	/
耐摩耗性 (mg)(摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g \times 2g, 1000回転	55 \pm 5	/
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に1ヶ月間浸せき	異常なし	変化なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし	変化なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	異常なし	変化なし
耐温水性	50 $^{\circ}$ C温水に48時間浸せき	異常なし	変化なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆	/
表面抵抗値	N.F.P.A法	5 \times 10 5 Ω ~1 \times 10 8 Ω	
漏洩抵抗値	静電気安全指針に準ずる	1 \times 10 5 Ω ~1 \times 10 8 Ω	
人体帯電電位	ストールル法	2000V以下	

※抵抗値は印加電圧500Vにて測定した結果

荷姿

■上塗り材

ポウジンテックス #8700DL 15kgセット(主剤12.5kg/硬化剤2.5kg)
硬化剤はS(夏型)、M(春秋型)、W(冬型)があります

■中塗り材

ポウジンテックス #2700D黒 14kgセット(主剤10.5kg/硬化剤3.5kg)

■下塗り材

ポウジンテックス 浸透性シーラーエポ 14kgセット(主剤10.5kg/硬化剤3.5kg)

ポウジンテックス ハイEプライマー 16kgセット(主剤12kg/硬化剤4kg)

ポウジンテックス #8000アンダーコート 15kgセット(主剤12.5kg/硬化剤2.5kg)

■希釈剤

ポウジンテックス #2700シンナー 16L \cdot 4L(#2700D黒用)

ポウジンテックス #2000シンナー 16L \cdot 4L(ハイEプライマー用)

ポウジンテックス #8000専用希釈剤 16L \cdot 4L(アンダーコート用)

■副資材

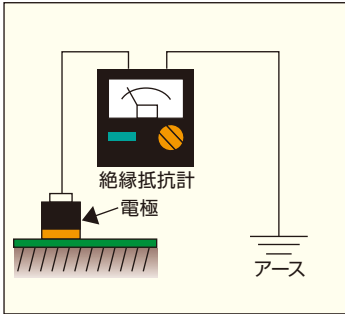
ポウジンテックス フィラー 5kg

BOUJINTEX #8700DL

測定方法

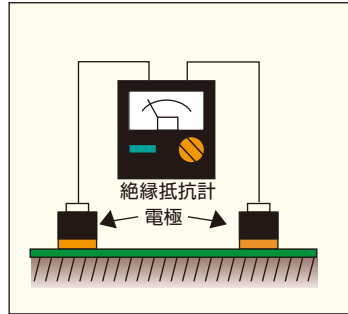
漏洩抵抗値の測定方法

漏洩抵抗値は塗床と接地間の抵抗値を測定します。



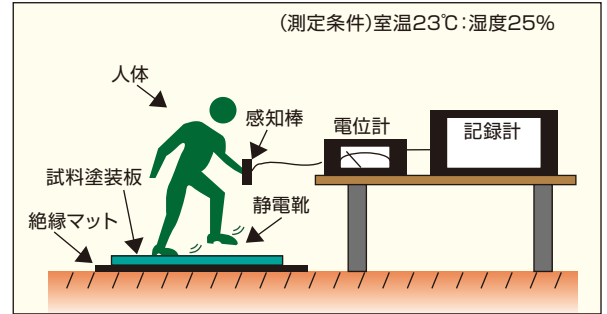
表面抵抗値の測定方法

N.F.P.A(米国防災協会)の定める方法に基づいた床材の測定方法。



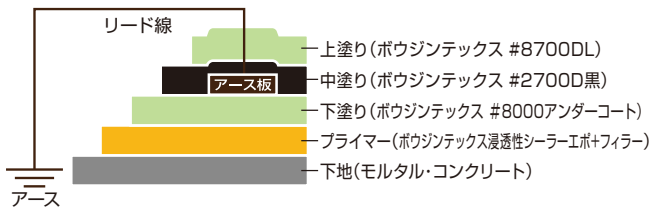
人体帯電電位の測定方法(ストール法)

静電靴を着用して足踏み歩行(約100歩/分)したときの床面との摩擦により発生する人体帯電電位を測定します。

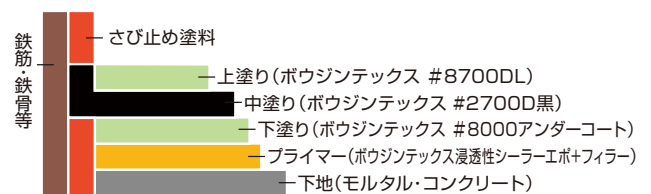


塗装工程

アース板を埋没する場合



鉄筋・鉄骨をアースに用いる場合



- ※アース板はなるべく歩行の障害にならない部屋の隅や壁際に埋設してください。
- ※アースとして鉄筋・鉄骨を利用する場合は、あらかじめ#2700D黒と接続する部分のさび止め塗料をグラインダー等で剥がして金属部分を出し、#2700D黒を接触するように塗装してください。
- ※アース板および鉄筋・鉄骨を利用するアースの有効範囲は半径15m以内です。
- ※アース板のリード線を建物のアース部に接続する際は、事前に関係者と打ち合わせをしてください。
- ※人体に帯電した静電気を除去するためには、静電防止靴などの着用が必要です。(通常の安全靴などは静電防止機能がないものがありますのでご注意ください。)

塗装仕様

■ボウジンテックス#8700DL (流しのべ工法・平滑仕上げ) 約1mm

工程	使用塗料	希釈割合 シンナー	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填しておく。									
プライマー	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	—	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000アンダーコート 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	—	金ゴテ レーキ	1	0.4	37.5	0.5h	—	16h以上 48h以内	—
アース	アース板を使用する場合はアンダーコート上のなるべく歩行の妨げにならない場所にエポキシパテまたは、市販のエポキシ系接着剤(金属用)等で貼り付けてください。鉄筋、鉄骨等をアースとして使用する場合は、あらかじめD黒と接続する部分のさび止め塗料をグラインダー等で剥がして金属部分を出し、中塗りのD黒を接続するように塗装してください。(半径15m以上H鋼が離れている場合は念のためアース板を施工してください。)									
中塗り	ボウジンテックス#2700D黒 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg	0~0.5L #2700シンナー	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~117	1h以内	—	6h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス#8700DL 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	—	金ゴテ レーキ	1	0.9	16.7	0.5h	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

その他の下塗り材

プライマー	ボウジンテックス ハイプライマー 主剤12kg 硬化剤4kg フィラー3kg	0~2L #2000シンナー	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	95~119	1h以内	—	3h以上 48h以内	—
-------	--	-------------------	------------	---	-----------------------	--------	------	---	---------------	---

- ※研掃機等にて下地処理を行った場合はハイプライマーが塗装可能です。
- ※プライマーのすい込みがばい場合はフィラーなしのハイプライマーを再度塗装してください。
- ※塗分量にはシンナーは含まれていません。

注意事項

仕様全般

- より低い人体帯電電位が要求される場所には、ボウジンテックス#2700DGまたは、ボウジンテックス#2700EXを適用してください。
- ボウジンテックス#8700DL硬化剤は季節により異なりますので、当該硬化剤を使用してください。
- 水銀灯や殺菌灯、太陽光の下では変色しますのでご注意ください。
- 気温5℃以下、相対湿度80%以上のときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
- モルタル・コンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程充分に乾燥させてください。
- ボウジンテックス#8700DLは0.9kg/m²以上の塗分量で塗装しないでください。これ以上で塗装すると帯電防止効果が著しく低下します。
- ボウジンテックス#2700D黒の塗装面に(ゴミ・ホコリ等に起因する)突起が存在すると、ボウジンテックス#8700DLの仕上がり面に悪影響が発生しますので除去してください。その際にポリリッシャー等の粉じんが発生するような道具は絶対に使用せず、金ペラやカッターで頭を飛ばすようにして処理後充分に清掃してください。
- ボウジンテックス#8700DLは淡彩色では塗膜表面の導電材が目立ちやすくなります。また、導電材や充填剤によりごく小さな凹凸が目立つ場合があります。
- 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- シーラー塗装の際、吸い込みが激しい場合はフィラーなしの浸透性シーラーエポを再度塗装してください。
- クラック・フウセン等の処理は、プライマー養生後、エポキシパテおよび増粘調整塗料にて行ってください。
- 低温時に施工した塗膜は水と接触すると表層白化する場合があります。そのため施工後の清掃において水拭きした場合、塗膜表面が白化しますので空拭きにて清掃してください。万一、水を含んだモップ等にて清掃された場合は、水を含んでいないモップにて水分を完全に拭き取ってください。
- 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。

塗料に関する注意

- 使用前には充分攪拌してください。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調割合合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
- 主剤と硬化剤をハンドミキサーで泡を巻き込まない様に充分に攪拌してください。
- 2液型塗料は、塗料ごとの可使用時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- アンダーコートは粘厚調整で希釈を行う場合は、専用希釈剤を塗料に対して約1%(150cc)から約3%(450cc)までの添加にしてください。また他のシンナー等での希釈は行わないでください。強度不足・硬化不足の原因となります。
- 調合した残液は反応して高温になり危険ですので、水を10cm程度はってください。
- 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。抵抗値が大きくなったり、色浮き・色違い、硬化不良等の原因となります。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 材料の保管、取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

硬化時間

ボウジンテックス#8700DL

ボウジンテックス#8000アンダーコート(可使用時間)

気温	硬化剤	可使用時間	歩行可能時間	完全硬化
30℃	S型	30分	16h以上	2日以上
20℃	M型	20分	16h以上	2日以上
10℃	W型	30分	20h以上	3日以上



水谷ペイント株式会社

本社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



06-6391-3039

営業時間：午前 9:00～12:00 午後 1:00～3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
1909030374658